

# 道路

## 青梅街道の仲町交差点から西側の歩道拡幅事業

原 邦彦議員(公明) 連続して整備を進めるべきと考えるが、都の計画は。

青梅街道駅付近まで整備されるのか。都は、市役所へのアクセスの主要な歩道という認識を持つているのか。

市役所へのアクセス面から特にユニバーサルデザインに取り組んでもらいたいかがどうか。

市長 今年度は、仲町交差点から仲町図書館前までの施工が予定されている。また、仲町図書館から小平消防署までの区間は、平成17・18年度に計画していることから聞いている。

整備の必要性は十分認識しているという聞いている、今後も都に要望していく。

すべての人にとって利用しやすい歩道整備を目指し、都と連携を図っていききたい。

## 青梅街道の変則交差点の安全対策

原 邦彦議員(公明) 青梅街道の七小通りと天神町地域センター通りの変則交差点は、青梅街道の出入り口付近が狭隘で、七小通りに進入する車と青梅街道へ出る車のトラブルが多く危険な状況である。交通安全対策が必要と考えるが、市の考えは。

天神町地域センター通り入り口の信号機を七小通りと一体化した信号機に変更するなどの安全対策は考えられないか。カーブミラーの設置はどうか。

七小通り南側の狭隘箇所を拡幅を考えると、交通安全対策が必要と考えるが、市の考えは。天神町地域センター通り入り口の信号機を七小通りと一体化した信号機に変更するなどの安全対策は考えられないか。カーブミラーの設置はどうか。

市長 交通規制を含むあらゆる角度から改善の検討を行っている。

信号機による制御は困難と小平警察署から聞いているが、カーブミラーを含む安全対策を、関係機関と協議したい。

相互通行できるように、道路拡幅に取り組んでいきたい。



青梅街道と七小通りの交差点(天神町二丁目)

## 市内の交通規制に対して市民が意見を言う場はあるか

常松大介議員(緑ネ) 交通規制の解除や標識等が簡素化された箇所数は、解除内容と理由などのようなものか。

規制解除の手続は、市民の意向はどの程度反映されるのか。

規制が解除された際、市報等で周知されるのか。

規制解除等による効果は、

市長 規制解除は平成15年度が14か所、今年度が10月末までで18か所ある。簡素化については把握していないと警察署から聞いている。解除内容は徐行の解除等で、交通規制を行う目的に沿わなくなったためである。

交通管理者が規制の解除を上申し、公安委員会の審査により解除される。住民要望や意見を踏まえながら検討し、実施しているところ警察署から聞いている。

交通安全規制の広報は行っていない。検証はしていないが、事故防止につながるものと考え。

## 東村山市との行政境にある通称江戸街道の道路整備と街路灯

石塚信治議員(政和) 通称江戸街道の八坂交差点から元氣村おがわ東までの間に、東村山市の歩道に小平市で街路灯を設置できないか。

また、小川団地から元氣村おがわ東までの間に、東村山市の歩道に小平市で街路灯を設置できないか。

小川団地から元氣村おがわ東までの間を拡幅して、歩道を設置できないか。

市長 街路灯の明るさは場所によって照度が多少不足しているように感じられる。道路管理者である東村山市に依頼したところ、照度が不足している箇所を設置したいとのことであった。

土地所有者に道路拡幅の依頼をしたが、用地提供はできないと回答があった。

の被害が予想されるか。このクラスの地震に地域防災計画は対応できるか。

新たな課題として、長期避難生活の対応をどう考えるか。

市長 中央防災会議で各地の震度分布が発表されたが、人的被害等についてはことし中にまとめる予定とのことである。マグニチュード7級の直下地震は想定範囲内である。

国、都、関係機関と調整しながら、被災者が1日も早く自立生活を送れるよう努めていく。

二階の結ぶつきの強化と各地域拠点及び関係機関との連絡体制の確保等である。

## 新潟県中越地震を受けて防災対策のさらなる向上を

斎藤 敦議員(フオ) 今回地震で新たな発見はあるか。

地域防災計画は平成14年に修正されているが、その後加筆すべき教訓、課題はあるのか。

計画以外の細かな対応について、マニュアルなどはあるか。

市長 家庭での防災意識と対策、並びに地域コミュニティの結びつきを強め、被害を最小限に抑えることなどである。

専門機関による調査、分析集約を参考にしながら防災対策の構築に努めていきたい。

進路予想が可能な台風は事前対応をとるが、地震は震度5以上の場合に、あらかじめ決められた役割を果たすよう備えている。

地震対策ガイドなどのパンフレットを自治会の防災訓練時に配るなどして、発災後の対応などを案内している。

## 大規模地震が発生した場合の備えは万全か

常松大介議員(緑ネ) 小平市周辺の活断層の状況は、新潟県中越地震と同規模の地震が発生した場合、市内の施設はどの程度耐え得るのか。

避難所管理運営マニュアルの作成は、また、市民への周知方法は、

一時避難所の数と収容可能人数は、

初期の復興支援受入体制について、都や近隣市との連絡調整や取り決め等はあるか。

道路の被害は少ないと考え、橋や歩道橋は安全性を調査し、結果により補強している。

平成17年度内にマニュアルを地区隊員として配置しており、毎年7月に、参集訓練、防災資機材の点検等を行っている。

消防施設の充実を図るため、現在小平消防署小川出張所の建てかえを行っている。また、地震火災の拡大防止対策として防火槽の充実にも努めている。

協定の見直しは必要に応じて適宜対応しており、備蓄品は計画的に更新を行っている。

消防資機材の整備・増強、教育訓練等を実施している。

地域内の公的施設の役割は、近隣市の施設の役割は、

医療機関との連携は、小平市防災地図の改訂版を作成しないのか。

範囲が多岐にわたることから困難である。自主防災組織に対し、災害時の避難・救護体制を構築するよう働きかけている。

直接行っていないが、自主防災組織等に対し、事業所を含む地域の防災活動について働きかけを行っている。

## 小平市の自然災害対策

高橋信博議員(政和) 市職員による休日、夜間等の参集訓練はどのようになっているか。

消防体制の確保、地震火災の拡大防止策は、

協力の確保等との協定の定期パンフレットの配布等を行うほか、市報等により啓発活動を行っている。

自主防災組織等の防災訓練に職員が出向き、消火等の訓練が、市報等により啓発活動を行っている。

災害が発生した際に、地域住民が迅速に避難できるような、被害が想定される区域と被害の程度、さらに避難場所、避難経路などの情報を明示した地図の作成。

小川西グラウンドは災害時に地域でどう機能するのか

佐野都夫議員(政和) 小川西グラウンドの災害時の機能と避難状態の想定は、

地域内にある他の市の施設との関係、役割は、

医療機関との連携は、小平市防災地図の改訂版を作成しないのか。

どのように高めているのか。

市長 地震規模により近隣の自治体が同時に被災することが考えられるため、市では多摩30市町村以外に埼玉県狭山市、北海道小平町との間で災害応援協定を締結している。

市内にはがけ崩れ等の危険箇所は存在しないため予定はないが、避難施設、防災施設等は防災地図や市民利便帳等により案内している。市外に勤務する市民には、各自で避難経路や避難所の所在地等を確認してもらい必要があると考える。

自主防災組織等の防災訓練に職員が出向き、消火等の訓練が、市報等により啓発活動を行っている。

災害が発生した際に、地域住民が迅速に避難できるような、被害が想定される区域と被害の程度、さらに避難場所、避難経路などの情報を明示した地図の作成。

小川西グラウンドは災害時に地域でどう機能するのか

佐野都夫議員(政和) 小川西グラウンドの災害時の機能と避難状態の想定は、

地域内にある他の市の施設との関係、役割は、

医療機関との連携は、小平市防災地図の改訂版を作成しないのか。

いつとき避難場所と位置づけられており、発災当初に施設等を設置する予定はないが、状況によってはテントやトイレを設置する。

グラウンドはいつとき避難場所、建物等は帰宅困難者等の避難所に指定している。

総合防災訓練が実施される地域以外の市民の防災意識を、

ができると好評だが、運営経費や提供情報の質等に課題があり、有効性や費用対効果などを見きわめていきたい。

## 小平市の救急体制は万全か

木村まゆみ議員(共産) 10月17日に仲町で発生した交通事故は、通報後随分時間がたつてから救急車が来たとのことであるが、事故の状況等は、

都に委託している常備消防の現状と今後の方針は、

市長 交差点内の普通乗用車と自転車の出会い頭の事故と聞いている。小平消防署救急隊が他へ出場していたため、小平消防署のポンプ隊が通報から4分後に現場に到着し、国分寺救急隊の到着まで応急措置を実施したと聞いている。

都と消防事務の委託に関する規約を締結し、その経費を市が負担している。今後も、消防団の強化に努めながら消防力の充実を図っていききたい。

## 携帯電話のメールによる緊急情報配信システムの導入

浅倉成樹議員(公明) 携帯電話のメールによる緊急情報配信システムについて、防災安全課と教育委員会の評価は、

このシステムを導入している自治体の状況と評価は、

市長 市では、有効な情報通信手段と認識している。災害時の避難情報などの緊急情報配信に取り組んでいるが、課題が残っているため、今後効果的な情報配信手段・方法を検討していきたい。また、携帯電話の活用策などを検討しているプロジェクトの成果を期待したい。

教育長 既存の情報伝達と重なる部分でもあり、補完的役割を担うと考えているが、先行実施の自治体を参考に研究していきたい。

市長 自治体数等は把握していない。素早く情報を知ること

最近、警視庁に要望活動を行ったことはない。移転計画は聞いていない。

小平消防署小川出張所前にある上宿交番の移転計画は、

市長 情報交換を行うとともに、防犯キャンペーンなどを連携して実施したほか、連名で地域防犯のパンフレットを作成したが、より具体的な協議については調整中である。

最近、警視庁に要望活動を行ったことはない。移転計画は聞いていない。

小平市民が多く利用する東大和市駅に交番設置を立花隆一議員(公明) 防災安全課が設置されたが、小平警察署との連携や協議はどのようになっているか。

交番設置に向けた市の取り組みは、

小平消防署小川出張所前にある上宿交番の移転計画は、

市長 情報交換を行うとともに、防犯キャンペーンなどを連携して実施したほか、連名で地域防犯のパンフレットを作成したが、より具体的な協議については調整中である。